

主題構成表

主題名 物を大切に 1 - (1)

資料名 「えんぴつは なんさい」

<p>内容項目 1 - (1)節度 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。</p>	<p>価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none">・ものは、それが出来上がるまでに多くの労力や時間を要している。ものを粗末に扱うことは、それが手元に届くまでの命の過程や手間を粗末に扱うことになる。・私たちは、毎日様々なものの命を頂いて生活している。さらに、ものを手に入れることで生活が豊かになったり便利になったりしている。ものを最後まで使い切り、ものに対する感謝の心を持ちながら生活することが大切である。・身の周りにはたくさんのものがあふれており、私たちはものに囲まれて生活しているが、それらは必要とされ目的があって購入したものであり、そのもの本来の使い方をするのが大切である。	<p>資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none">・電動鉛筆削りで鉛筆を削っているたかし。おもしろいように削れる。つい何度も何度も試しているが、無駄に削っているという意識はない。たかしの楽しんでいる気持ちに共感させることで、自分の中にある弱さに気付かせたい。・たかしが、鉛筆を作る木はおじいちゃん生まれる前に地球に植えられたことを知り、鉛筆ができるまでには長い命の積み重ねがあることに気付く場面を通して、物には命があることを意識させたい。・削り過ぎて短くなった鉛筆を眺めながら反省するたかしの気持ちを考えさせることで、どんなに安価なものでも大切に使うという心情を育てたい。
<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none">・お金を出して買ったものだから、自分の持ち物は大切に扱わなければならないと思っている子は多い。・身の周りのものによって、自分たちの生活が支えられていることはあまり感じていない。 <p>意識の要因</p> <ul style="list-style-type: none">・無意識のうちに無駄遣いをしていたり、新しいものと交換してしまう。・興味がなくなると、持っている価値がなくなる。		

ねらい
電動鉛筆削りで面白がって鉛筆を削っていたたかしが、おじいさんから鉛筆ができるまでの話を聞き「鉛筆は71歳」と知って鉛筆の価値に気付く姿を通して、ものを最後まで大切に使うという気持ちを育てる。

展開の構想

- ・電動鉛筆削りで鉛筆がどんどん削れていくことを楽しんでいる主人公の気持ちに共感させることで、自分の中にある弱さを自覚させる。
- ・鉛筆は長い年月を経た木を使ってできていることを知り、鉛筆の価値に気付かせる。
- ・短くなった鉛筆を見つめる主人公の気持ちをワークシートに書かせることによって、今まで鉛筆を粗末に扱っていたことを反省する主人公の気持ちに共感させる。
- ・友だちなど身近な人がものを大切にしている様子を聞き、自分も物を大切にしようとする心情を高める。

基本発問
教室の落とし物を見てどんなことを思いますか。

たかしくんは、鉛筆を削っているときどんな気持ちだったのかな。

たかしくんは、おじいちゃんから鉛筆ができるまでの話を聞いて、どんなことを思ったのかな。

たかしくんは、どんな気持ちで短くなった鉛筆を見つめていたのかな。

みなさんが、何か大切に使っているものはありますか。それは、どのような気持ちで大切にしているのですか。